



平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (連結)

平成 18 年 2 月 1 日

上場会社名 日清食品株式会社

(コード番号: 2897 東証・大証 第一部)

(URL <http://www.nissinfoods.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名: 代表取締役社長 安藤 宏基
責任者役職・氏名: 取締役財務部長 柳田 隆久

T E L (06)6305 - 7711

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

税金費用の計算等については、簡便的な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 連結(新規)1社

2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期 第3四半期	241,326	0.4	23,608	0.8	30,044	11.3	13,259	1.6
17年3月期 第3四半期	242,299	1.6	23,432	22.3	26,983	28.6	13,476	14.6
(参考)17年3月期	316,972		28,962		33,183		16,611	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期 第3四半期	107.63	
17年3月期 第3四半期	109.19	
(参考)17年3月期	134.36	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期 第3四半期	370,378	266,929	72.1	2,188.00
17年3月期 第3四半期	369,300	255,511	69.2	2,070.09
(参考)17年3月期	361,104	258,138	71.5	2,091.16

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期 第3四半期	14,078	17,976	10,625	88,871
17年3月期 第3四半期				
(参考)17年3月期	30,259	30,348	5,708	66,326

(注)四半期業績の開示は当期から実施しているため、前年同四半期実績については記載していません。

3. 平成 18 年 3 月期の連結業績予想（平成 17 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	328,000	36,000	17,000

(参考) 1 株当たり予想当期純利益（通期） 139 円 14 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成 17 年 11 月 1 日に公表した業績予想につきまして変更はありませんが、為替の変動等不確定要因により実際の業績は記載の予想数値と異なる場合があります。

4. 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報

即席食品業界の市場環境は、少子高齢化による総需要の縮小や、中食市場との競合による高価格帯製品需要の伸び悩み、さらに、小売流通業界の業態多様化による販売価格の下落傾向など、売上の伸びを阻害する懸念材料が多く、依然として厳しい状況が続いています。

総需要が伸び悩む中、国内の即席めんメーカー各社は、販売シェア拡大にしのぎを削っております。当社では、主力のロングセラーブランド「チキンラーメン」「カップヌードル」を中心に、「日清のどん兵衛」「チキンラーメンどんぶり」などが、積極的な販売促進に加えCM効果等もあり好調に推移し売上を伸ばしました。しかし、「日清具多」「日清ラ王」などの高価格帯製品は当ジャンルの需要が全般的に低迷する傾向を受けて売上が減少しました。

チルド・冷凍食品では、主力の「日清焼そば」が堅調に推移するとともに、電子レンジで簡単調理の「冷凍日清スパ王」や高級具付きめんの「冷凍日清具多」が好調な売れ行きを示しました。

菓子・飲料ではシリアル食品の「シスコーン BIG」及び特定保健用食品の許可を取得している乳酸菌飲料「ピルクル」が消費者の根強い支持を得て堅調な販売で推移しました。

一方、海外市場では、北米市場を中心に、きめ細かい販売活動の実施や新カテゴリー製品の店頭化拡大などによって売上を伸ばしました。

以上の結果、当第 3 四半期までの売上高は高価格帯製品の不振などをを受けて 2,413 億 26 百万円（前年同期比 0.4%減）となりました。営業利益では退職給付関係費用の改善等により 236 億 8 百万円（前年同期比 0.8%増）となりました。経常利益段階では有価証券売却益の増加等による営業外収益が大きく貢献したため 300 億 44 百万円（前年同期比 11.3%増）となりました。しかし、当期においては「固定資産の減損に係る会計基準」が適用されたことに伴う減損損失を計上したため四半期純利益は 132 億 59 百万円（前年同期比 1.6%減）となりました。

四半期連結財務諸表

1. (要約)四半期連結貸借対照表

期 別 科 目	当第3四半期 (平成17年12月31日現在)		前第3四半期 (平成16年12月31日現在)		(参考)前連結会計年度 (平成17年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資 産 の 部)	百万円	%	百万円	%	百万円	%
流 動 資 産	168,555	45.5	144,395	39.1	133,147	36.9
現金及び預金	75,131		63,326		60,957	
受取手形及び売掛金	48,734		50,755		38,890	
有価証券	25,425		10,729		13,127	
棚卸資産	11,958		12,425		12,355	
その他	7,593		7,518		8,154	
貸倒引当金	288		359		338	
固 定 資 産	201,822	54.5	224,905	60.9	227,957	63.1
有形固定資産	68,984	18.6	78,747	21.3	75,332	20.9
無形固定資産	992	0.3	536	0.2	771	0.2
投資その他の資産	131,846	35.6	145,620	39.4	151,853	42.0
投資有価証券	111,719		120,832		129,960	
出資金	12,936		14,719		12,610	
長期貸付金	211		241		215	
その他	7,142		9,908		9,229	
貸倒引当金	164		80		162	
資 産 合 計	370,378	100.0	369,300	100.0	361,104	100.0
(負 債 の 部)						
流 動 負 債	81,636	22.0	86,992	23.6	76,816	21.2
支払手形及び買掛金	37,630		40,665		33,682	
短期借入金	3,053		3,613		3,038	
未払金	24,088		25,424		19,498	
未払法人税等	5,332		6,904		7,565	
その他	11,530		10,383		13,031	
固 定 負 債	15,522	4.2	19,771	5.3	19,414	5.4
退職給付引当金	12,371		14,107		13,580	
その他	3,151		5,663		5,833	
負 債 合 計	97,159	26.2	106,763	28.9	96,230	26.6
(少 数 株 主 持 分)						
少 数 株 主 持 分	6,288	1.7	7,025	1.9	6,735	1.9
(資 本 の 部)						
資 本 金	25,122	6.8	25,122	6.8	25,122	7.0
資本剰余金	48,385	13.1	48,370	13.1	48,370	13.4
利益剰余金	201,668	54.4	190,791	51.7	193,926	53.7
土地再評価差額金	2,421	0.6	2,359	0.6	2,359	0.7
その他有価証券評価差額金	9,725	2.6	5,085	1.4	6,114	1.7
為替換算調整勘定	1,001	0.3	1,746	0.5	3,282	0.8
自己株式	14,548	3.9	9,752	2.7	9,753	2.8
資 本 合 計	266,929	72.1	255,511	69.2	258,138	71.5
負債、少数株主持分及び資本合計	370,378	100.0	369,300	100.0	361,104	100.0

2.(要約)四半期連結損益計算書

科 目	当第3四半期 自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日		前第3四半期 自 平成16年 4月 1日 至 平成16年12月31日		(参考)前連結会計年度 自 平成16年4月 1日 至 平成17年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売 上 高	241,326	100.0	242,299	100.0	316,972	100.0
売 上 原 価	117,712	48.8	118,795	49.0	156,876	49.5
売 上 総 利 益	123,613	51.2	123,503	51.0	160,095	50.5
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	100,005	41.4	100,071	41.3	131,133	41.4
営 業 利 益	23,608	9.8	23,432	9.7	28,962	9.1
営 業 外 収 益	6,801	2.8	3,711	1.5	4,454	1.4
受 取 利 息 及 び 配 当 金	2,521		1,766		2,538	
有 価 証 券 売 却 益	3,070		350		374	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	305		359		427	
そ の 他	903		1,235		1,114	
営 業 外 費 用	365	0.2	160	0.1	234	0.0
経 常 利 益	30,044	12.4	26,983	11.1	33,183	10.5
特 別 利 益	295	0.1	292	0.1	294	0.1
特 別 損 失	6,228	2.5	4,247	1.7	6,405	2.0
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	24,110	10.0	23,028	9.5	27,072	8.6
法 人 税 等	11,022	4.6	9,341	3.8	10,243	3.3
少 数 株 主 利 益	171	0.1	209	0.1	216	0.1
四 半 期 (当 期) 純 利 益	13,259	5.5	13,476	5.6	16,611	5.2

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	期 別	当第3四半期 自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日	(参考)前連結会計年度 自 平成16年4月 1日 至 平成17年3月31日
		金 額	金 額
		百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益		24,110	27,072
減 価 償 却 費		4,356	6,674
持分法による投資利益		305	427
売上債権の増減額(増加:)		9,246	559
棚卸資産の増減額(増加:)		968	501
仕入債務の増減額(減少:)		3,337	497
そ の 他		962	2,197
小 計		22,258	35,077
法人税等の支払額		10,669	7,457
そ の 他		2,489	2,640
営業活動によるキャッシュ・フロー		14,078	30,259
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の取得・売却等(取得:)		7,292	2,789
有形固定資産等の取得・売却(取得:)		2,437	1,560
投資有価証券等の取得・売却等(取得:)		16,016	29,697
そ の 他		2,894	1,880
投資活動によるキャッシュ・フロー		17,976	30,348
財務活動によるキャッシュ・フロー			
配当金の支払額		5,552	3,702
少数株主への配当金の支払額		13	13
そ の 他		5,059	1,993
財務活動によるキャッシュ・フロー		10,625	5,708
現金及び現金同等物に係る換算差額		1,000	16
現金及び現金同等物の増減額(減少:)		22,430	5,813
現金及び現金同等物の期首残高		66,326	72,140
新規連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の増加額		109	-
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額		5	-
現金及び現金同等物の期末残高		88,871	66,326

(注)四半期業績の開示は当期から実施しているため、前年同四半期実績については記載しておりません。